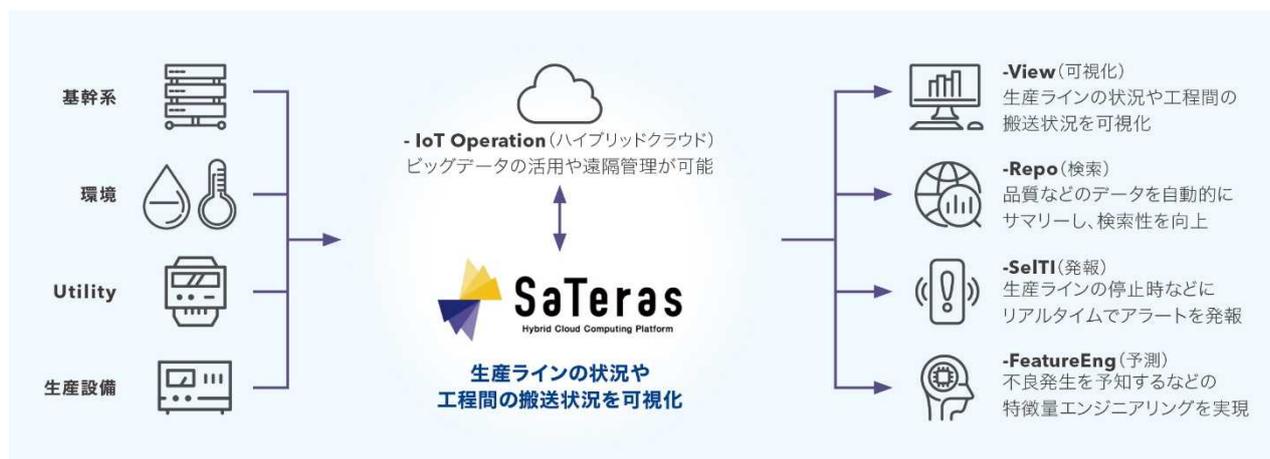


「匠」技術の継承を支援する DX ソリューションシステム「SaTeras」を開発
—製造・生産に関するデータの一元管理を可能にし、生産能率向上に寄与—

東洋製罐グループホールディングス株式会社（以下「当社」）は、製造に関するデータの一元管理を可能とするデータソリューションシステム「SaTeras」（サテラス）を開発しました。「SaTeras」により、製造設備の稼働条件や測定値等の製造関連データをシンプルに統合し蓄積することで、リアルタイムでの可視化・分析等が可能となり、さらに機械学習プラットフォームにつなげることで、工程不具合の未然防止や高品質を維持するといった製造業に欠かすことのできないデジタル活用が可能となります。



1. 「SaTeras」開発の背景・目的

当社は、昨今の IoT や AI 等の技術進展にともなう、製造業のデジタル化は避けられない外部環境の変化の中で、今まで蓄えてきた製造ノウハウやデータをより高度に活用することに主眼を置き、以下を目的として「SaTeras」を開発しました。

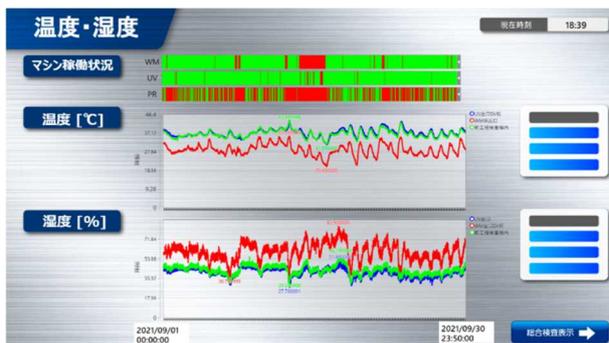
- 製造・品質・環境等に関する情報連携とビッグデータを活用した社内インフラ再構築
- 製造・品質・環境等に関して収集したデータの分析・解析手法の構築
- 製造設備停止にともなうダウンタイム低減・アウト率の低減による生産性向上
- 製造支援に関する情報の整理、製造担当者の関心事にフォーカス

「SaTeras」は製造現場での脱属人化、超高齢化社会対応などの課題を解決するために、今まで培われた生産データの活用や暗黙知を構造化して形式知に変え、データを利用して誰でも製造することができる環境を提供し、さらに情報の上位連携を可能としたシステムです。必要な機能・サービスを組み合わせることが可能であるため、処理能力の増強に対しても柔軟な設計となっています。

<ご参考：ダッシュボード例>



生産ライン全体の稼働状況を可視化



温度・湿度状況をリアルタイムで把握

2. 「SaTeras」の展開

現在、当社グループでは国内におけるアルミ缶製造6拠点への初期導入を完了し、順次主要なグループ会社での試験導入を進めています。将来的には社外のお客さまへの販売も視野に入れており、「SaTeras」の活用を通じて、新たな製造環境の提供や環境負荷低減を進め、企業価値の向上に繋がっていきます。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050年を見据えた「長期経営ビジョン2050『未来をつつむ』」を2021年5月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進してまいります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・矢澤

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以上